

## 静岡県立三島南高等学校第3回学校運営協議会議事録

### 1 開催日時

令和7年11月8日(土) 開会：午前11時00分 閉会：午前12時00分

### 2 開催場所

静岡県立三島南高等学校 会議室

### 3 出席委員数

5人 会長 大嶋孝博、副会長 岩田喜佐恵、委員 植野博美、寺村智穂、宮内真紀

### 4 校長挨拶

前回開催した協議会以降の学校の様子をお伝えする。

冬に3日間試行したカジュアルデーを7月と9月に本格実施した。当初2週間ずつの予定であったが、9月は暑さが続いていたため、9月いっぱいまで実施した。生徒の様子を見ると、部活動のTシャツ・短パンが多く、特に男子生徒はとても快適そうであった。女子生徒はスカートなので涼しいのか、制服も多かった。

8月には探究リーダー塾を行った。2年目ということで、昨年度参加した生徒がファシリテーターとなり、最後には企業の方にも報告会に来ていただいて、とても良い形で終わった。

そのほか生徒の活動としては、2年次生の永田さんが全国高校生の手話によるスピーチコンテストの代表として地元の素晴らしさを手話で語ってくれた。また、1年次生の今井君がお薦め本を紹介するビブリオバトルの県大会で優勝し、来年2月に全国大会に出場する。8月には同窓会・後援会後援のマレーシア海外研修「三南の翼」も行ったので、後ほど生徒が報告を行う。

令和8年度の公立高等学校入学者選抜の募集定員が発表された。本校は変更がなく、引き続き5クラス200人募集ということになった。今後、私立高校無償化拡大の影響があるかもしれないが、三島南高校で力を発揮してもらえる生徒に頑張ってもらいたいと思っている。

### 5 議事（司会：大嶋副会長）

#### (1) 「三南観光大使」について（説明者：渡邊 和久 教諭）

2年前に全国ビジネスアイデア甲子園で本校生徒がグランプリを取り、三島市長を表敬訪問した際に、三南生が三島を盛り上げてほしいと提案をいただいた。

そこで、新教育課程で新しく始まった商業科の科目「観光ビジネス」の中で、三島市の史跡や名所、グルメなどを学び、県外からの観光客に三島の良さを広くアピールするため、「三南観光大使」として活動することになった。

三島市ふるさとガイドの会に協力を仰ぎ、昨年度は6月に楽寿園、12月にはスカイウォークや山中城などに観光客を案内した。今年度は三島市以外にも伊東方面や修善寺方面で研修を行う予定である。今後数年かけてエリアを拡大していきたいと考えている。

また、昨年度、三南観光大使のインスタグラムを見たレストランの方からメニュー開発の話をいただき、生徒が企画したメニューが販売された。今年度も継続してメニュー考案をし、先日プレゼンテーションを行って3商品決定したところである。12月から店舗で販売される予定である。

#### (2) 令和7年度PTAからの意見（説明者：副校長）

P T A本部役員に意見を吸い上げてもらった。カジュアルデーについての意見が大半で、どれもおおむね良いという御意見であった。

#### ア 学習指導・進路指導について

保護者向けの進学説明会開催についての要望と、三者面談の時に各科目の評価について説明してほしいという意見、また、同じクラスに学力差がある生徒に対し、能力に応じた教育をお願いしたいという意見があった。

学力差のある生徒に対する指導については、教科によってはグレード別で授業を分けている場合もある。特に気になる生徒については、放課後個別指導を行うなど、生徒の実態に合わせた指導をしている。

(大嶋会長) 保護者向け進路説明会は開催するのか。

(副 校 長) 現在生徒向けの説明会を行っているので、希望する保護者はその説明会に参加してもらうよう積極的にアナウンスするようにしたいと考えている。

(寺村委員) 生徒向け説明会に参加していただくことで良いと思う。

(大嶋会長) 進路のスケジュール感や進路用語が分かりにくいと感じているかもしれない。

(植野委員) 学校もオールマイティではないので、どこかに重きをおくと、どこかに歪みが出てきてしまう。歪みが起きないための方策をとっておくと納得感も得られると思うが、すべてに対応するのは難しいことである。

(校 長) 現在は1年次生が次年度に科目選択をする時に、保護者向けの説明会をしている。その中に組み入れるなど、内容を工夫して全体に周知するようにしたい。

(大嶋会長) テスト前の部活動についても、やりたい生徒もいるし、やらせたい保護者もいるように、全員に対応するのは難しい。迷った時には、学校の方針、ポリシーに立ち返って判断すればよい。

#### イ 学校生活・部活動について

体操着の名札について、もう少し小さくできないかという意見や、テスト前にも部活動があるので、テスト勉強が手につかないという意見があった。

部活動については、大会前などでどうしてもテスト前に活動をしたい場合は、学校が許可を出して実施している。

(寺村委員) 体操服の名札が大きくなった経緯は何か。

(副 校 長) 元々大きかったのを小さくしたが、シール形式であったため、とてもはがれやすかった。また、2年前に生徒が救急搬送されるという事案があり、誰からでも分かりやすいように元の大きさに戻したという経緯がある。

(岩田副会長) グランドも広いので、教師にとっては授業中すぐに確認できる方が良いと思われる。

(校 長) 4月当初になぜ名札が大きくなったのかを生徒に話をしたら理解が得られるのではないかと保健体育科とも話をした。

(宮内委員) 中学校では名札がなかったため、抵抗感があるのではないか。

(寺村委員) 経緯を知れば納得すると思うので、説明する必要があると思う。

(大嶋会長) 部活動の予定の連絡に関する意見は、送迎や配車の連絡が必要なためか。

(副 校 長) 直前に練習試合などが決まる場合もあり、連絡網を作っていない部活動は生徒から保護者に伝わる連絡にタイムラグが生じてしまうこともある。

(岩田副会長) 生徒ではなく、直接保護者に連絡する方法があるとよいと思う。

(大嶋会長) 何か対策方法はないか。できるなら改善した方がよい。

ウ 学校行事（学校祭・修学旅行）について

体育の部の保護者観客席を広げてほしいという意見、また修学旅行の説明会について、ZOOMの使用方法的説明をしてほしいということと、アーカイブ配信をしてほしいという意見があった。

エ その他意見について

自転車運転時のヘルメットの着用率が低いという意見やエアコンが不調となった場合の対応をどうするかという意見があった。

ヘルメット着用について、来年度以降の新入生については、ヘルメットを所持していることを自転車通学の許可条件にするようにという県からの通知がきている。

(校長) 自転車運転時のヘルメットの着用について、まずは所持することを徹底する指導を行う。また、最近交通事故が多く、警察からもヘルメット着用については強く求められている。

(大嶋会長) 大人が着用しないので、難しいのではないかな。

(3) その他（「三南の翼」報告）

(生徒 1) マレーシアの農村が自分たちの住む地域とどのように違うのかを知りたくて参加した。農村では、様々な伝統的な部分を残していて、それを訪れた海外の人に伝えていく文化があると感じた。また、発展している都市部と伝統を残している農村部との違いも見ることができて、とても勉強になった。

(生徒 2) 今回の研修で、自分がいかに固定観念にとらわれていたかを感じる場面が多くあった。固定観念により新しいことに挑戦する機会が失われるのはもったいないので、今後「当たり前」を取り払っていきたいと思った。

(大嶋会長) 行く前と行った後で何か見方が変わったことはあるか。

(生徒 2) マレーシアは馴染みのない国であったので怖いというイメージがあったが、実際行ってみると、かなり温かく受け入れてくれて、アットホームな国であると感じた。

(生徒 1) マレーシア人は日本人と似たところも多く、気軽に話しかけてくれた。日本より涼しかったのもとてもびっくりした。

(岩田副会長) 他の国で行きたいところはどこか。

(生徒 1) 世界文化遺産が多くあるドイツやイタリア、イギリスなどに行きたいと思っている。

(生徒 2) 日本は島国なので、海外からいろいろ取り入れることが多かったと思うが、その発祥地が多いヨーロッパ方面に行きたいと思っている。

(植野委員) 五感をフルに使って吸収し、やりたいことを実現してほしいと思う。

(宮内委員) 世界を見ることは大事なので、いろいろなものを吸収して、ぜひそれを発信してほしい。

(寺村委員) 研修に参加して気が付いたことを来年度の研修生にも伝え、繋げていけたら良い。

6 報告事項

(1) 「三南の翼」 令和7年8月18～22日実施（マレーシア）生徒7人参加

(2) 部活動報告

(3) 校外活動報告

(4) 「つながる」 （三南ニュース）

(5) 「探究リーダー養成塾」 令和7年8月実施 7校28人参加

7 閉会の挨拶（岩田副会長）

今日は授業参観もさせていただいたが、生徒はとても落ち着いていて、三南の良さが出ていると思う。また、「三南の翼」についても、発表した生徒がとてもしっかりしていて驚いた。外の世界を見て考える機会が増えることはとても良いことであるので、ぜひ継続してほしい。

[今後の予定]

第4回2月3日（火） 14:00から16:00（予定）

年間反省、学校評価、課題についての協議